

**事業所名** グループホーム 勝央  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 理学療法士、ガイドヘルパー講師  
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員  
B:現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>管理者は、入居者一人ひとりを家族として、自分の親をみるような気持ちで接する事が大切と考えており、人生の最後に「よかった」と思ってもらえるように職員のチームワーク作りに努力し、家族の一員としての協力をめざしている。</p> <p>○『人として幸せに安心して生きられる日々を大切に』の理念を基に、入居者一人ひとりの個性を尊重し、入居者のペースに合わせた対応で、安定したホーム生活の継続に努めている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者一人ひとりの思いを大切に、その人らしく自由に過ごせるように支援している。職員は、種かにゆっくと接し、誇りやプライドを損なうことがないよう言葉掛けにも注意を払っている。</p> <p>○恵まれた自然環境の中、近隣を散歩したり、ひなたぼっこや菜園作業を楽しむ等、入居者が心身共に落ち着いて穏やかな日々を送れるように支援している。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮		○
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○中国山脈が見える中山間地の小高い場所にホームはあり、右手には雪を頂く那岐山と眼下には田畑が広がっており、静かな環境の中にある。和風平屋建ての建物で、道沿いの花壇には色とりどりの花が植えられ、広い庭の西側には大きな木々がそびえ立っている。庭の中の菜園では、季節の野菜を育てている。入居者は、この恵まれた自然の中で季節の移り変わりを感じながら、近隣を散歩したり、菜園作業を楽しみながら日々を送っている。

○医療法人が運営しており、認知症専門医の往診と相談指導が受けられる。津山市の総合病院とも医療提携しており、受診や入院、緊急時の対応は万全である。他にも、協力医院や歯科医院からの往診や口腔指導がある。夜勤は看護師も行っており、医療面での支援体制は整っている。

○町内の夏祭りや地域交流会等の行事に参加する。保育園児やボランティアの人との交流を図る、家族会・運営推進会議を定期的に行う等、家族や地域の方との良好な関係を築いている。他のグループホームとの交流もあり、昨年は近くのコミュニティハウスを借りて合同敬老会を行っている。

○帰宅願望のある方等、多様な認知症について理解をして工夫を重ね、入居者が心身共に安定した生活を営めるように日々励んでいる。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

皆さん穏やかに生活しておられるが、全体的には入居者の活動性が低い印象を受けた。再度、一人ひとりの持つ能力を見直し、自分のできる事を発揮して達成感を味わってもらい、より自信を高める場面作りを期待する。

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者一人ひとりの能力や経験を生活場面で活かせるように支援している。農家で過ごし、土に触れる事の好きな方を『畑奉行』と称し、野菜作りを教わり、入居者も職員も一緒に楽しんでできるように工夫している。また、花作りの好きだった方と玄関横の花壇に一緒に行き、蕾をつけた花を見てもらったり、切花ができたならその方の部屋に一本でも飾ってもらうようにしている。</p> <p>○面会者には、専用の用紙に一人ずつ別々に記入して玄関の面会ポストに入れてもらい、管理者がまとめて事務室に保管している。また、重要書類は事務室で管理し、不要となったものは全てシュレッダーで処分して、個人の情報を他に洩らさないように徹底している。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>○美作保健センターや津山市で行われる研修に積極的に参加し、職員間で知識を共有して介護サービスの質を高める努力をしている。</p> <p>○消防署の立ち会いのもと、避難訓練を実施している。事故発生対応マニュアル・緊急時対応マニュアル等の各マニュアルを整備し、事務室のすぐ分かる所に連絡表を張り、緊急時に備えている。</p> <p>○中山間地で近くに商店が無い買い物支援が遅れていたが、職員間で検討を重ね、現在は、入居者全員で津山のデパートに行く日を設けたり、月2~3回、個人の希望に応じておやつを買いに出る等、入居者の希望に沿った買い物支援が続けられるよう努力している。</p>		